

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材 42483002
(歯科セラミックス用接着材料 70815000、歯科金属用接着材料 70921000、
歯科用知覚過敏抑制材料 70926000、歯科用象牙質接着材キット 70866002)

オプチボンド ユニバーサル

再使用禁止 (ユニドースタイプ、塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ、分取皿、ディスポーザブルチップ)

【禁忌・禁止】

- ・本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止 (ユニドースタイプ、塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ、分取皿、ディスポーザブルチップ)

* 【形状・構造及び原等】

性 状：ペースト

容 器：ボトルタイプ／ユニドースタイプ

付属品：塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ
分取皿



成分：グリセロールジメタクリレート、Bis-GMA、フィラー
ヒドロキシエチルメタクリレート、カンファーキノ
ンアセトン、エタノール、精製水、その他

構成品：ゲルエッチャント (ディスポーザブルチップ付) ー
一般的名称：歯科用エッチング材
製造販売認証番号：224ADBZX00284000

原理：歯科重合用光照射器で光照射すると、成分のモノマーが重
合反応して硬化する。
また、歯面に塗布することにより象牙細管に浸透して、こ
れを封鎖して知覚過敏を抑制する。

【使用目的又は効果】

本品は「歯科用象牙質接着材」、「歯科セラミックス用接着材
料」、「歯科金属用接着材料」及び「歯科用知覚過敏抑制材料」
に該当する多目的の歯科用接着材であり、使用目的又は効果は以
下のとおり。

歯の窩洞・欠損への修復又は人工歯冠 (セラミック製補綴物、無
機フィラーを含むレジン材料又は金属製補綴物) 補修のための修
復材料の接着、及びセラミック製修復物・補綴物又は金属製修復
物・補綴物の接着に用いる。また、象牙質又は形成象牙質の知覚
過敏の抑制に用いる。

** 【使用方法等】

<歯の窩洞・欠損の修復、人口歯冠補修>

1. 窩洞または欠損の前処理
ウォータースプレーで洗浄し、エアブローする (完全には乾
燥させない)。

※セルフエッチングの場合は、手順 2、3 はスキップする

2. エッチング処理
ゲルエッチャント (歯科用エッチング材) をエナメル質辺縁
またはエナメル質及び象牙質窩洞に 15 秒間塗布し、次いで
水洗してすべてのエッチング材を完全に除去する。
軽くエアブローする。ただし、乾燥させない。

3. 本材の準備

ボトルタイプ使用の場合は、ボトルを少し振ってから、清潔
な分取皿に 2~3 滴採取し、直ちにキャップを締める。
ユニドースタイプの場合は、容器を開け、ディスポーザブル
アプリーケーターチップ (以下、アプリーケーターチップ) を挿
入し、飽和させる。

4. 塗布
アプリーケーターチップを用いて、十分な量の本材を軽くブラ
ッシングするように 20 秒間塗布する。

5. 乾燥
はじめは軽いエアで、次に中程度のエアで 5 秒以上乾燥させ
る。

※ 光沢のある均一な状態でない場合は、4~5 の手順を再度繰
り返す。

6. 光照射
歯科重合用光照射器を用いて、光照射する 1)。
7. コンポジットレジン充填
使用する歯科材料の使用説明書等にしたがって修復を行う。

<修復物・補綴物の接着>

1. 被着面の処理 (一般的な手順)
セラミック・ポーセレンの場合は、50μ のアルミナ研磨材 (0.2
MPa の圧力) で被着面をサンドブラスト処理し、フッ化水素
酸で製品の使用説明書等に従いエッチング処理を行い、水洗
後乾燥させない程度にエアブローする。
メタル、ジルコニアベース、アルミナベースの場合は 0.4 MPa、
コンポジットレジンの場合は 0.1 MPa の圧力で被着面を 50μ
のアルミナ研磨材でサンドブラスト処理する。

2. 本材の塗布・乾燥
上記 4、5 の手順と同様に、修復物・補綴物の接着面に本材
を塗布し、はじめは微風で、次に強風でエアブローし、アド
ヒーシブの液溜まりができないようにする。

3. 光照射
歯科重合用光照射器を用いて、光照射する 1) 2)。

4. 歯面処理
ウォータースプレーで洗浄し、エアで乾燥させる。
※セルフエッチングの場合は、手順 5、6 はスキップする。

5. エッチング処理
ゲルエッチャント (歯科用エッチング材) をエナメル質辺縁
またはエナメル質及び象牙質窩洞に 15 秒間塗布し、次いで
水洗してすべてのエッチング材を完全に除去する。
乾燥させない程度に軽くエアブローする。

6. 本材の準備

ボルトタイプ使用の場合は、ボトルを少し振ってから、清潔な分取皿に 2～3 滴採取し、直ちにキャップを締める。
ユニドータイプの場合は、容器を開け、アプリケーターチップを挿入し、飽和させる。

7. 塗布

アプリケーターチップを用いて、十分な量の本材を軽くブラッシングするように 20 秒間塗布する。

8. 乾燥

はじめは軽いエアで、次に中程度のエアで 5 秒以上乾燥させる。

※ 光沢のある均一な状態でない場合は、7～8 の手順を再度繰り返す。

9. 光照射

歯科重合用光照射器を用いて、光照射する 1)。

10. 修復物・補綴物の接着

使用する歯科材料の使用説明書等にしがたって接着する。

1) 推奨照射時間

「オブチラックス 501」：
標準照射モード、11mm ライトガイド使用時は 10 秒間
「デミ」、「デミ プラス」、「デミ ウルトラ」：5 秒間

2) 「エヌ・エックス・スリー（歯科用コンポジットレジンセメント）」を使用する場合、光照射はオプション

1) 及び 2) に記載の製品すべて：

製造販売業者 自社

*[使用方法に関連する使用上の注意]

- 照射光が十分に届かない箇所には、光重合型又はデュアルキュア型の材料を本品と組み合わせて使用しないこと。
- 直接覆髄しないこと。露髄部や、窩洞が深いときは、覆髄材により歯髄を保護すること。ただし、ユージノール系のものは使用しないこと。
- ボトルの初回使用時は、10 秒間強く振ること。
- 本品は可燃性であるので、火気の近くで使用しないこと。また、火気の近くに置かないこと。また、分取皿に採取したら直ちに使用すること。
- 本品は揮発性の成分を含むので、使用後は直ちにボトルのキャップを締めること。
- 指定の歯科材料以外は使用しないこと。
- 窓際、デンタルライト等、明るい場所で使用すると硬化するので、遮光するか、強い光の当たらない場所で使用すること。
- 接着手順の前に接着面が、唾液または血液で汚染しないように注意すること。
- 光重合が不十分な場合は、十分な接着強度が得られないので、適切に光照射すること。
- 支台築造では、光重合型又はデュアルキュア型のコア材を使用すること。コア材は必ず築盛 1 層ずつ光重合すること。
- 修復物・補綴物に塗布する際は、に塗布する際は、液溜まりができないようにすること。液溜まりができた場合は軽いエアで除去してから、光照射を行うこと。
- 他の歯科用製品と混ぜて使用しないこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症のある術者は、手袋等を用いて直接触れないようにすること。また、本材の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、

腫瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は、使用を中止し、医師の診断を受けること。

- 本材及び使用する歯科材料等は、接触皮膚炎や、歯髄損傷を起こすことがあるので、皮膚、柔組織への接触を避け、眼に入らないように注意すること。付着した場合には、すぐに大量の流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断をうけること。
- 必要に応じてラバーダムなどの防湿処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- 本品は受領後、2～8℃で冷蔵保管すること。
- 直射日光、デンタルライト等の強い光があたる場所、及び火気の近くには置かないこと。
- 使用期限の過ぎたものは廃棄すること。

[有効期間]

- 24 ヶ月 [自己認証（製造元データ）による]
使用期限は、包装に記載。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者氏名 : エンビスタジャパン株式会社
製造業者 : カー社(Kerr Corporation)
国名 : アメリカ (U. S. A.)